

就職状況報告書

(求職者支援法に基づく職業訓練)

		届出日	平成	年	月	日
氏名 (※1)	(フリガナ)					
求職番号				-		
生年月日	昭	和	・	平	成	年
	月	日	生	満	()	歳
現在の住所	(〒	-)	電話	()	

受講した訓練コース	
訓練実施施設名	
訓練コース名	基礎コース ・ 実践コース
訓練科名	
訓練番号	
訓練期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
○を付けてください	修了 ・ 中途退校 (退校日: 年 月 日)
	(職業訓練受講給付金の) 給付を受けていた ・ 給付を受けていなかった

就職状況	
○を付けてください	1 就職した又は内定した 2 自営を始めた 3 未就職 4 公共職業訓練受講中又は決定した(※2)
事業所名	(フリガナ)
事業所の所在地	(〒 -) 電話 ()
採用された部署名/職種	(部署名 職種)
雇用保険適用事業所番号	※「自営を始めた方」のみ記載してください。
就職(予定)日	平成 年 月 日(※3)
雇用形態 (○を付けてください)	正社員 契約社員 パート アルバイト 派遣(派遣先名(※4) 電話) その他(具体的に)
雇用保険 (○を付けてください)	1 雇用保険の対象である 2 雇用保険の対象でない 3 わからない
雇用契約期間 (○を付けてください)	雇用契約期間の定めが あり { 1日以上7日未満 7日以上31日未満 31日以上6か月未満 6か月以上1年未満 1年以上 } なし わからない ※雇用契約期間については、雇用契約書などで明記されている期間を記載してください。
関連就職 (○を付けてください)	訓練コースの内容に関連した業務への 就職である ・ 就職でない
就職経路 (○を付けてください)	1 ハローワーク紹介による就職 2 実習先事業所への就職 3 求人広告 4 友人・知人の紹介 5 その他 ()

ハローワーク	受付ハローワーク	
記載欄	受付日	平成 年 月 日
	受付者	

- ※1 「氏名」が訓練受講開始時から変更されている場合は訓練受講開始時の氏名も分かるように現在の氏名と併せて（旧姓〇〇）と記載してください。
- ※2 「公共職業訓練受講中又は決定した」は、公共職業訓練（職業能力開発促進法に基づくもので、公共職業安定所長の受講指示又は受講推薦を受けて受講するもの）又は求職者支援訓練の震災対策特別訓練コースを受講中又は受講が決定した方は〇を付けてください。
公共職業訓練又は求職者支援訓練の震災対策特別コースの受講を希望、申込中、選考結果待ちの場合は該当しません。
- ※3 自営を始めた場合は、自営を開始した日を記載してください。また、内定の場合は、就職予定日を記載するとともに、欄内余白に内定日を記載してください（例：内定日平成〇年〇月〇日）。
- ※4 派遣先が決定しているものの、派遣先との守秘義務契約等により記載できない場合は、派遣先名に記載できない理由を記載してください。

（記入上の留意事項）

- ・ 本報告書は、訓練修了者及び就職理由中途退校者全員が記入対象となります。
- ・ 訓練終了日から3か月以内の就職状況（未就職・公共職業訓練又は求職者支援訓練の震災対策特別訓練コースの連続受講を含む。）をハローワークにご報告ください。
また、3か月を経過する前に就職が決まった場合はその時点でご報告ください。
なお、就職を理由に退校する方は、当該就職状況（退校時点での就職状況）をご報告ください。
- ・ 就職が決定（内定）した場合は、「就職状況」の全項目を漏れなく記入してください。
- ・ 訓練終了日から3か月経過後に本報告書の提出がない場合、また、提出された本報告書に未記入の箇所がある場合には、確認のためにハローワークから連絡させていただく場合があります。
- ・ 本様式は自筆で記入してください。
- ・ 本様式は訓練実施機関へ提出した就職状況報告書（様式A-14）と内容は同一ですが、これとは別に、本様式をハローワークへ提出する必要がありますので、ご注意ください。
- ・ なお、本様式に代えて、訓練実施機関へ提出した就職状況報告書（様式A-14）の表面の写しをハローワークへ提出することとしても差し支えありません。

この報告書は、あなたの訓練修了後の就職状況及び就職に向けた支援の必要性等を把握することを目的としており、就職状況について、都道府県労働局及び（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構への報告に利用することがあります。

また、ご記入いただいた氏名、住所等の個人情報を目的外に利用することはありません。